

●昭和51年4月20日印刷

●昭和51年6月1日発行

●編集・発行者 竹島紀元

●編集スタッフ

金子俊夫／塚本雅啓／松尾定行

白井朝子／宮原正和

●アートディレクト 岡田徹也

●発行所

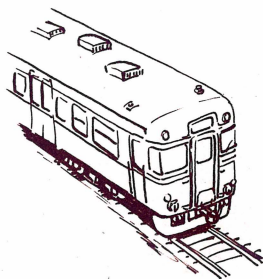
(株)鉄道ジャーナル社

〒102 東京都千代田区飯田橋4-8-6

日産ビル 電話03(264)1891・1892

振替口座 東京 9-82820 番

●印刷所 凸版印刷株式会社



膨大な赤字をどう解消して健全な運営と再建をはかるか——？赤字問題は日本国鉄がつけにかかっている深刻な事柄である。赤字対策として いつもまず話題にのぼるのがローカル線。マスコミを通して一般社会には「ローカル線＝赤字線」と単純に受けとられているきらいもある。その結果 ローカル線は国鉄財政を圧迫する根源との誤解さえ生まれ 赤字ローカル線は早急に廃止すべきだという考え方も強いようだ。実際にローカル線の大部分が大きな赤字をかかえており たとえ沿線住民の生活に不可欠な公共的性格が強くて も 大局的見地から廃止を唱える人も少なくない。

しかし ローカル線の実態を知らずして 漠然と‘赤字線’というイメージだけで論じるのは危険である。ところが 私たちがこの問題を取り上げようとしてまず驚いたのは ローカル線という明確な定義すら無いことであった。赤字線の問題はさておき ローカル線の実態を解明する最初の手がかりとして 編集部ではローカル線をアトラダムに5つの特色にわけて考えてみることにした。

目次

特集●ローカル線5つの顔

- 7 レールウェイ・レビュー 国鉄職員の接客態度
- 8 ニュース・ファイル(国鉄・私鉄・海外鉄道の動き)
- 13 車両基地(国鉄動力車の新製・改造・転属・廃車)

特集 ローカル線5つの顔

- カラー・グラフ
- 15 ローカル線の詩 江波 光
- 23 国鉄のローカル線 その意義と問題点 青木栄一
- 30 国鉄経営からみたローカル線問題 所沢熙夫
- 現地ルポ ローカル線の素顔を探る
- 33 その1 御殿場線栄枯盛衰小話 伊藤東作
- 37 その2 雲出ずる美杉の里と名松線 松尾定行
- 42 無人駅のイメージアップ 後藤寿之
- 44 資料・線区別にみた変遷と現状一覧 編集部
- 52 日本鉄道建設公団の組織と仕事 種村直樹
- 61 天龍・旧国・飯田線 小野純一／山本忠史
- ドキュメント★列車追跡⑤
- 66 陰陽連絡くちどり1号 塚本雅啓／荒川好夫
- 74 八高線小宮駅・イラストルポ 安達義寛

- 77 SL終焉の日に 江坂光守
- 88 旅路の果て
- ☆レールウェイ・トピックス
- 90 大阪市交通局‘号線カラー化’すすむ 山村定雄
- 91 武蔵野南線が開通 編集部
- 92 神戸市営地下鉄用1000形がデビュー 編集部
- 93 上信電鉄に新車が誕生 福田宏之
- 96 SL運転を再開した西武鉄道山口線 寺門邦夫
- 94 RJ技術解説シリーズ 踏切遮断機のしくみ 編集部
- 97 トップ・アングル

●路面電車再発見⑥

- 110 富山地方鉄道富山市内線・射水線／加越能鉄道高岡軌道線 日本路面電車同好会
- 117 ヨーロッパの鉄道と列車の旅(28) 山之内秀一郎
- 電気機関車⑥

- 124 鉄道ジャーナル'76-1～6月号 さくいん

- 101 ブルー・トレイン

- 108 ワイドレンズ／魚眼／新刊紹介／新聞記事ざっくばらん／伝言板／タブレット／ズームレンズ／RJ クイズ／こちらジャーナル編集部次号予告／乗務員室

定価 480円 円60円

表紙／日本のどこかで

カメラ・江坂光守